

2015年度 協豊会関西地区 第3回講演会  
＜野球解説者 川藤 幸三 様＞  
「代打人生 ピンチをチャンスに変える」

2015年度、第3回目（8月26日・於住友クラブ 大会議室）の講演会は、元阪神タイガースで現在は野球解説者としておなじみの川藤幸三様に、「代打人生 ピンチをチャンスに変える」と題して、川藤様が歩んでこられた野球人生を大変楽しく、またプロの厳しさを、色々なエピソードを交えてご講演いただきました。

川藤様は、昭和42年に福井県若狭高校を卒業後、ドラフト9位で阪神タイガースに入団して、セ・リーグのシーズン最多犠打、チーム最多盗塁を記録し、その後は『代打1本』で勝負をかけることを決意して、代打人生が始まりました。その勝負強さと人柄で、昭和61年まで現役でバットを振り続け、現在は野球解説者としてその豪快なキャラクターで人気を博しています。

今回の講演では、学生時代からプロ野球に入団するまでの人の出会いと、プロ野球で活躍するための自己管理のあり方を中心に、ドラフトでの裏話やご自身の失敗談なども交えて、とても盛り沢山の内容のお話を伺いました。

川藤様が高校野球部時代、三年生になって悩んだ時に寺の和尚様に師事した時のエピソードでは、「人間、何かをやろうと思ったら覚悟がいる。その覚悟をどこまで持ち続けることができるか?」、「教えは自分の腹の中にある。言葉に左右されてはいけない。」川藤様にとってこの二つの言葉が、甲子園に出場しその後プロ野球で活躍するきっかけになったものでした。

また、プロ野球時代で、「いくら個々の力が優れていても、組織が一つにならなければ目標達成できない」、「プロとしての自己管理や時間の使い方」などは、企業に属する我々にとっても、非常に参考になるお話でした。

飾らない言葉で語られる数々のエピソードは、プロ野球の世界で19年間現役で活躍された重みに裏付けられたものであり、川藤様のユーモアと人間味溢れる話ぶりで長時間の講演を最後まで大変興味深く聞くことが出来ました。

その後の懇親会でも、質問や写真にも気軽に応じていただき、とても有意義な講演でした。

